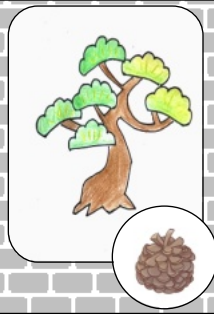


幸せのまつ Happy Pine



発行

春日部市社会福祉協議会
幸松地区支部
問い合わせ
春日部市社会福祉協議会
住所：春日部市中央2-24-1
電話：048-762-1081

幸松の歴史コーナー 牛島の歴史

牛島の藤花園

国の特別天然記念物

【園内ご案内】

昭和3年1月文部省より天然記念物に指定。昭和30年8月22日文化財保護法により改めて国の指定となる。

(特別天然記念保存木)由来徴証伝説(現在高野山にあり)当園は元真言宗蓮花院の境内なりしを明治7年当寺の住職藤岡好三氏其の筋へ出願なし、廃寺となり爾来(じらい)所有者変わ

り現在にいたる。又、人々の言伝えによると1200年余前、弘法大師お手植の藤とも聞きおよぶ。

【藤の伝説】

むかし、柳原で農家の娘が長い間病気で苦しんでいた。

旅僧から娘の病気は生垣の中にある藤を寺に納めるとよくなるといわれたので、藤を寺の境内に移し植えたところ病気は治ったという。

この寺は蓮花院といわれ今はないが、



牛島駅前藤棚の下では“ふれあいウォーキング”が行われている。

藤だけが残されてそのあとをしのばせている。

広さ2万平方メートル及び景色の美しい庭園。花房の長さは、最も長いもので2メートルにもなり、根元周りは3・9メートルになる。この藤は上質の酒粕、油粕、化学肥料等の4種類の肥料を年4回施している。見頃は毎年4月下旬から5月上旬で花時の眺めは、最高と賞賛されている。

もしもの時に役立つ「緊急連絡カード」を活用ください！

社会福祉協議会幸松地区支部にて開催している高齢者食事会の参加者から、「道で倒れた時とかに、『この人に連絡して欲しい！』って持ち歩きたい」とのお声をいただき、作成しました。必要事項を記入し、左側のカードを切



なお、春日部の藤の花にちなんだ名産品として「藤の彩 焼酎」、「藤うどん」等があり、銘菓として太田屋米菓の藤の花を彩る「春日部手焼せんべい」「極味(きわみ)」がある。

り取って、お財布等に入れて持ち歩きましょう。お子様から年配の方まで幅広い世代の方にご活用いただければと思います。

《「注意いただきたいこと」》このカードに記載されている個人情報、ご自身の責任において管理してください。また、緊急連絡先の方には必ず了解をいただいたうえでご記入ください。

緊急連絡カード
氏名 _____
住所 _____
発行：社会福祉協議会幸松地区支部



「いきいきサロンうしよん」
交流の場として

「牛島ボランティアセンター」
の利用の様子

地域開放スペースを利用してみませんか？

地域開放スペースは、不特定の方が参加できる活動「ふれあい・いきいきサロン」や「介護予防体操」、また地域の方が参加する行事を決める自治会の会議や研修会等、地域活動を行なう場所として、ご利用いただけます。ご利用を希望される場合は、春日部市社会福祉協議会までご連絡ください。

地域活動に、場所（個人宅や会議室等）を開放して下さる方の情報も募集しています！

場所	開放スペース	利用時間	料金	人数
特別養護老人ホーム そら (不動院野647)	会議室	火・水・木・金 10時~16時	無料	20名
牛島ボランティアセンター (牛島1510-13)	会議室	平日 10時~16時	無料	30名



世代間交流の場として
「わくわくの森」

いきいきサロン「なでしこ・こぶち」活動報告

毎月第2・第4火曜日 午前中



小淵の東側、不動院野との境目に在る、幸松集会所に楽しい笑い声



牛島4番地区自治会の夏祭り「ふれあいフェスティバル」

活動内容もみんなで話し合い、健康維持のための体操や、歌、ゲーム、脳トレなどを行っています。「長年の友人ばかりで、会って話せることが一番の楽しみ」と皆さん。高野会長からは、「メンバー一人一人の協力があって会が成り立っています。メ

が響きます。平成18年に、地域の高齢者が寝たきりや、孤独にならないよう、近隣の人たちで、皆がいきいきとして過ごせるようにと、『なでしこ・こぶち』が始まりました。今年18年目を迎え、メンバーの平均年齢も80代を超え、小淵、不動院野、樋籠の各地域から11名の仲間が参加し、お互いに協力してサロンを開催しています。

『なでしこ・こぶち』の活動以外にも、地域の配食ボランティア『ほのぼの会』や、環境保全ボランティア『旧倉松第二調整池を守る会』、幸松支部社協の活動等、長年地域の様々な活動の中心的な役割を、熱心に担ってこられた方でした。謹んで、ご冥福をお祈りいたします。

ンバーが高齢化し、今後の活動に不安もあり、今回の活動紹介を機に、新しいメンバーの加入や、お手伝いして下さる方がいれば助かります。」と長年サロンを牽引してきた方の実感のこもったご意見も頂きました。取材にご協力いただいた高野会長、メンバーの皆さん、ありがとうございました。昨年12月の取材の後、高野会長が永眠されました。

三年目を迎え、地域の皆様「幸せのまつ」に対するご感想が気になるところです。いろいろな試行錯誤しながら編集しています。皆様より企画案など応募いただけたら幸いです。また、編集部員も少ないため一緒に参加いただける方を募っています。よりよい広報紙となるよう今後とも努力して参ります。(城守)

編集後記

緊急時は、下記に連絡をお願いします

緊急連絡先①
氏名 _____ (続柄 _____)
電話番号 _____

緊急連絡先②
氏名 _____ (続柄 _____)
電話番号 _____